

経済学部産業経済学科

学位（教育）プログラム名：経済学（産業経済学科）

経済学（産業経済学科）の学位（教育）プログラムでは、ディプロマ・ポリシー（DP:学位授与方針）に示した資質・能力を総合的に身につけている学生を育成するために、以下のようにカリキュラムを編成します。

【教育内容】

産業経済学科で学ぶのに必要な基礎知識と学習方法を身につけるため、入門科目や少人数クラスによる導入教育を初年次に行います。また、専門教育のための基礎として、経済学の初等理論に関する教育を早い段階で行います。

これらの基礎教育を土台とし、2年次以降の履修モデルとして2つのプログラムを設けています。

起業家育成プログラムでは、起業という視点から将来への展望をもち、それに挑戦する積極性と実践的問題解決能力を身につけることを目標としています。このため、ベンチャー起業、産業戦略、情報社会などに関する科目を配置しています。

地域イノベーションプログラムでは、データ分析などに基づき地域や企業が抱える問題を発見し、その解決策のための政策や戦略を提案する能力を身につけることを目標としています。このため、フィールド研究、社会調査、データサイエンスなどに関する科目を配置しています。

意欲をもった学生がグローバル化に対応できる能力を身につけるため、専門教育科目として海外研究者などによる講義・演習も配置します。

【教育方法】

順次性を重視した演習科目を2年次から4年次にわたって配置し、少人数教育を実施します。担当教員、学生相互で協力しながら、自らが選択した課題に対する分析・考察を行い、論文などを執筆することで、課題探究・解決能力を身につけさせます。

講義科目では、専任教員とともにスチューデント・アシスタントを配置し、経済学の理論分野の学習支援体制を整え、学生の自主学習をサポートします。

専門教育科目の中に、実社会での経験豊富な社会人による講義科目などを組み込み、社会において自己が果たすべき役割を担い、市民として責任ある行動をとる姿勢を身につけさせます。

【共通教育】

共通教育のCPに関しては別に定める。

共通教育に関するCPをもって学位（教育）プログラムCPを構成する。